

(2) 施策の方針

第5章 安全で快適な生活が送れるまち

分野(1) 防災・安全

施策の方針③ 消防機能の整備・充実

< 目標とすべきまちの姿 >

消防施設は老朽化耐震対策が実施され安定的に火災等への対応がなされています。消防救急無線はデジタル化が図られ、緊急時にも適切な情報通信が可能となっています。

市民の防火・防災意識は高く、すべての一般住宅には住宅用火災警報器が設置され、災害時の避難誘導等の減災体制は消防団、自主防災組織などとの連携が効果的に行われています。

1 事業評価結果一覧表

消防本部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
消防-01	消防運営事業	48,977	82,889	4.3	b	B
消防-02	消防施設管理事業	14,908	18,851	0.5	b	B
消防-03	消防団運営事業	61,412	69,298	1.0	b	B
消防-04	消防施設整備事業	193,843	199,364	0.7	b	B
消防-05	警防活動事業	21,319	28,987	1.0	b	B
消防-06	救急活動事業	12,387	20,055	1.0	b	B
消防-07	消火栓管理事業	4,051	11,719	1.0	b	B
消防-08	車両購入事業	34,824	42,492	1.0	b	B
消防-09	指令活動事業	1,232,814	1,343,221	14.0	b	B
消防-10	予防活動事業	1,063	81,606	10.5	b	B
	鎌倉・大船消防署警防活動	0	1,571,564	198.0	b	B

2 平成26年度末の目標

消防本部

第3期基本計画を実施していくにあたり、公共施設の再編等を念頭に置き、防災拠点の維持強化を図り、消防の広域化、高機能消防指令センターの共同化など、近隣市町村との連携を強化を図り、広域行政の推進を行っていく。また、歳入確保の手法検討、業務の効率化による歳出削減、人員の適正配置等を踏まえ事業を展開していく。

3 平成26年度の取組の評価

消防本部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

消防力の強化という点では、消防本部の移転、高機能消防指令センターの構築など、災害活動における効率性を強化するとともに、老朽化した腰越出張所の解体など、防災拠点整備に係る総合的な目標は達成できたが、各課ともに、多種多様な業務に対し限られた人員で業務を行っているため、更なる業務の効率性を検討する必要がある。消防本部の移転、高機能消防指令センターの構築により得られる成果は27年度、腰越出張所改築による成果は28年度以降となる。

4 今後の方向性

消防本部

消防は市民の生命・身体・財産をあらゆる災害から守ることが、総合的な成果と考える。公共施設の再編を考慮し、活動の拠点となる消防庁舎の維持管理を継続して行い、消防職団員の知識、技術を高めるために各種研修、訓練などを受講させ、迅速的確な現場活動の遂行を目指す。また、市民向けの各種講習、訓練等を定期的に開催し、救命率及び防火防災意識の向上を目指す。更に、立入検査を通じて適正な防火管理指導及び消防法違反対象物の撲滅を継続的に実施していくなど、消防業務全般の強化を図っていく。

5 平成27年度末の目標

消防本部

平成28年度の開庁を目指し、腰越出張所の改築工事を実施していくが、公共施設再編計画も視野に入れ、総合的に庁舎の維持管理を進めていく。また、職員の世代交代による経験不足、高機能消防指令センターの効率的な活用、市民に対する防火防災意識の向上、防火管理指導及び消防法違反対象物の撲滅など、市民サービスに直結する諸課題があるが、限られた人員で効率的に成果が得られるよう、消防業務を実施していく。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・本部機能が大船消防署に移転することで津波被害が解消され、消防力の強化が図れ、高機能消防指令センターの構築など、災害活動における効率性を強化した。
- ・消防職員の日頃の活動は市民の安心につながっている。

2 課題・提言

- ・老朽化した腰越出張所の改築の前段として、解体工事を実施する必要がある。
- ・庁舎解体に伴う付近住民への説明及び家屋調査の日程調整を行う必要がある。
- ・現場活動がスムーズに行くよう、人員の配置に配慮が必要である。
- ・地域の消防団との連携を図り、消防団員の確保と活動しやすい環境づくりに努力されたい。